

JavaScript研修

jQuery編

7. 数秒後にアクションを発生させる

7. 数秒後にアクションを実行させる

「ボタンをクリックして5秒後に」「ページを開いて1秒後に」など
遅延実行について学びます。



ポイント

- `.delay()`の使い方
- 多重遅延の計算

7. 数秒後にアクションを実行させる

ページを開いて●秒後に文字を表示させる。

HTML

```
<div id="mv">  
<span class="msg">ここに表示させる文字</span>  
</div>
```

文字はあらかじめ非表示にしておく。



CSS

```
#mv {  
  /*背景画像に関するCSS*/  
}  
  
span {  
  /*テキストに関するCSS*/  
  display: none;  
}
```

7. 数秒後にアクションを実行させる

JavaScript

```
$(function () {  
    $(1).2(function () {  
        $(' 3 ').4(5).6({  
            7 : ' 8 ',  
            9 : ' 10 '  
        }).11({ 12 : ' 13 '}, 14 );  
    });  
});
```

7. 数秒後にアクションを実行させる

- JSを発生させるタイミング → ページを開いて●秒後
- どんな風に変えるか？ → テキストを表示させる
- 具体的には？ → `.msg` を `display: block;`に。且つふわっと。

7. 数秒後にアクションを実行させる

● `.delay(遅延時間)`

遅延時間で設定した時間後に、その後の関数を実行する

- ・遅延時間……数字(ミリ秒)またはslow, normal, fast【初期値:400】

7. 数秒後にアクションを実行させる

- `$(window).load(function(){...})`

画像含めすべて読み込まれたら実行する

- `$(document).ready(function(){...})`

DOMが構築されたら実行する

* DOMとは…次のページ

今回はどっちがいいか？

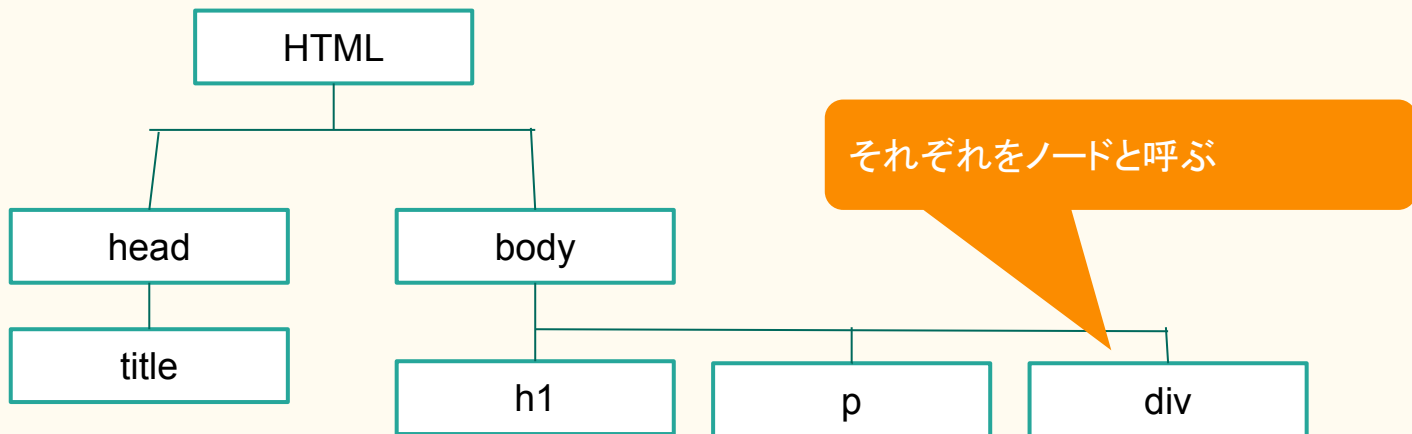
→ 画像を読み込みたいので、前者がおすすめ。

7. 数秒後にアクションを実行させる

●DOM(Document Object Model)

HTMLやXMLなどの要素にアクセスする仕組みのこと。

(例)<p>やタグにアクセスする仕組みのこと。



7. 数秒後にアクションを実行させる

- load後、まず何を行うか？

→ `display: none;` の箇所を `display: block;` に (`inline-block`もOK)

- しかし、これだけだと、パッと表示されてしまう

→ `opacity: 0;` にすることで、まずは消しておく

- `.animate()`を利用して、ふわっと表示する

→ 徐々に`opacity: 1;` に

7. 数秒後にアクションを実行させる

● 練習問題1

ページ読み込み後、複数のテキストを1行ずつ表示する
プログラムを、`.delay()`を使って作ってください。

(プログラム例参照)

7. 数秒後にアクションを実行させる

● 練習問題2

- ・練習問題1の遅延表示項目をさらに増やしてください
- ・可能であれば、変数を「i」としたループを使って
プログラムを書いてください。